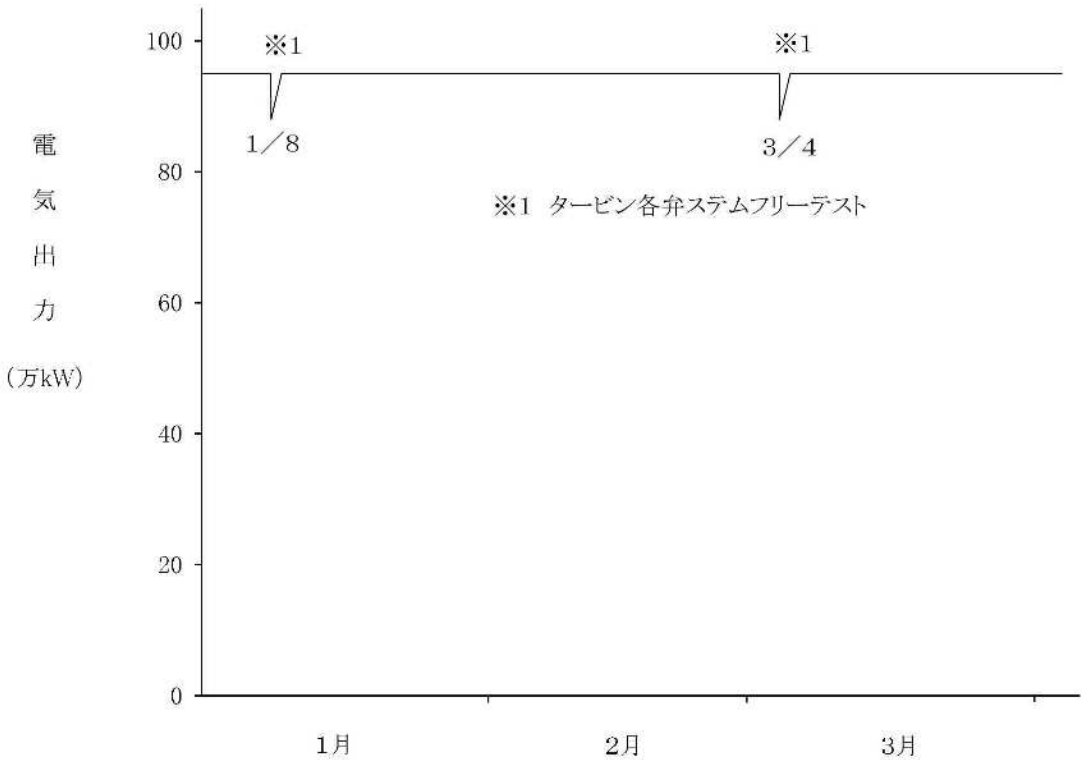


令和8年8月17日
九州電力株式会社

川内原子力発電所1号機運転状況
(令和8年1月～3月)



1. 発電実績

項 目	1月～3月の実績	備 考
発電電力量(発電端)	20.7億 kWh	発電日数 90日

2. 放射性廃棄物の管理状況

項 目		放 出 量 (Bq) ※2		(参考) ※4 ※6
		1月～3月	年間累計 ※3	放出管理目標値
気 体 廃 棄 物	希 ガ ス	ND	2.4×10^9	年間 1.7×10^{15} Bq
	よ う 素 131	ND	ND	年間 6.2×10^{10} Bq
※4 液 体 廃 棄 物	液 体 廃 棄 物 (トリチウムを除く)	ND	ND	年間 7.4×10^{10} Bq
	ト リ チ ウ ム	1.2×10^{13}	5.3×10^{13}	(年間 1.1×10^{14} Bq) ※7
※4 ※5 固 体 廃 棄 物	発生量等(2000ドラム相当本数)			貯蔵庫容量 約41,500本
		1月～3月	総累計	
	発 生 量 (A)	600	28,755	
	焼却等減少量 (B)	252		
	増 加 量 (A-B)	348		

※2 放出量(Bq)は、排気(排水)中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に、排気(排水)量(cm³)を乗じて算出。なお、放射性物質の濃度が検出限界未満の場合はNDと表示。検出限界濃度は、国の指針に基づいて次のとおり設定している。

- ・希ガス : 2×10^{-2} Bq/cm³以下
- ・よう素131 : 7×10^{-9} Bq/cm³以下
- ・液体廃棄物(トリチウムを除く) : 2×10^{-2} Bq/cm³(Co-60で代表した)以下

※3 毎年4月1日からの累計を示す。

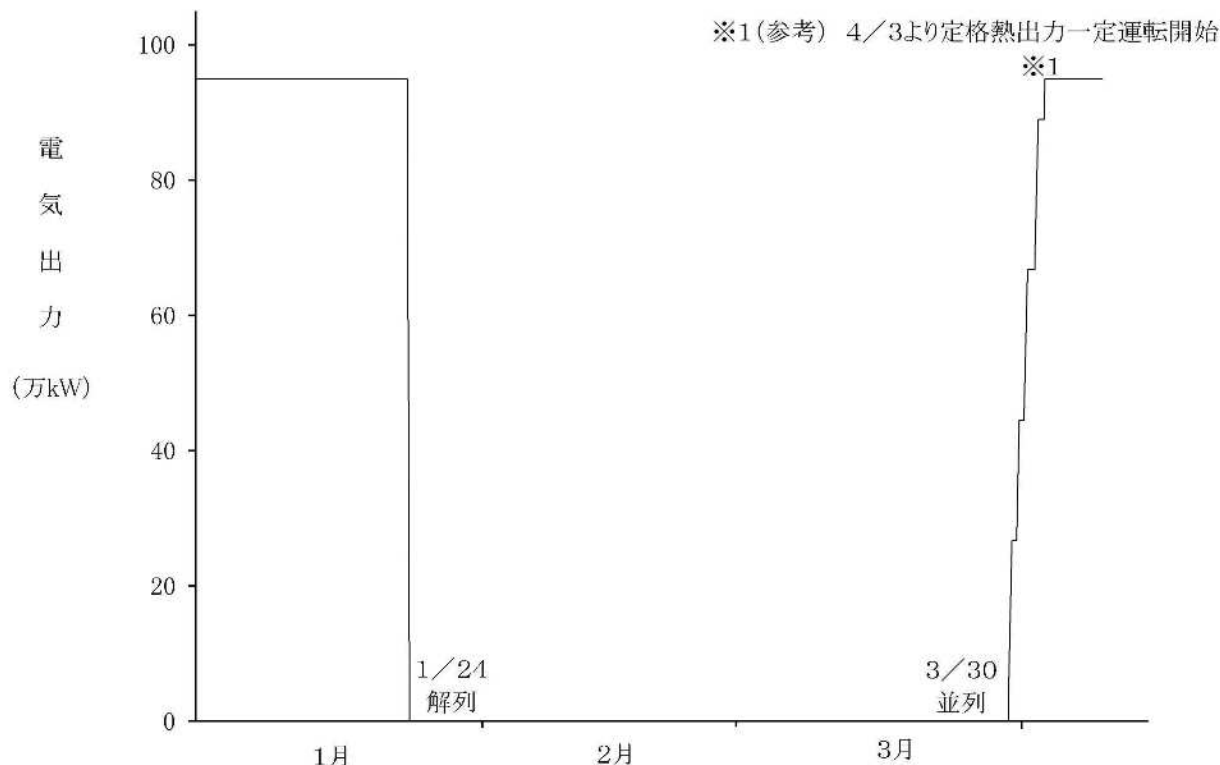
※4 1, 2号機合計の値を示す。

※5 発電所の運転に伴い発生する低レベル放射性廃棄物

※6 発電所周辺公衆の被ばく線量を可能な限り低く保つための線量目標値(50 μ Sv/年)を達成するため、川内原子力発電所原子炉施設保安規定に基づき放出管理目標値として管理している値。

※7 トリチウムは放出エネルギーが低く、周辺公衆への被ばく影響も低い。被ばく線量を可能な限り低く保つため、同発電所原子炉施設保安規定に基づき放出管理の基準値として管理している値。

川内原子力発電所2号機運転状況 (令和8年1月～3月)



1. 発電実績

項 目	1月～3月の実績	備 考
発電電力量(発電端)	5.4億 kWh	発電日数 26日

2. 放射性廃棄物の管理状況

項 目		放 出 量 (Bq) ※2		(参考) 放出管理目標値 ※4 ※5
		1月～3月	年間累計 ※3	
気 体 廃 棄 物	希 ガ ス	3.0×10^9	3.0×10^9	年間 1.7×10^{15} Bq
	よ う 素 131	ND	ND	年間 6.2×10^{10} Bq

※2 放出量(Bq)は、排気(排水)中の放射性物質の濃度(Bq/cm³)に、排気(排水)量(cm³)を乗じて算出。
なお、放射性物質の濃度が検出限界未満の場合はNDと表示。検出限界濃度は、国の指針に基づいて次のとおり設定している。

- ・希ガス : 2×10^{-2} Bq/cm³以下
- ・よう素131 : 7×10^{-9} Bq/cm³以下

※3 毎年4月1日からの累計を示す。

※4 1, 2号機合計の値を示す。

※5 発電所周辺公衆の被ばく線量を可能な限り低く保つための線量目標値(50 μ Sv/年)を達成するため、川内原子力発電所原子炉施設保安規定に基づき放出管理目標値として管理している値。

注) 液体廃棄物及び固体廃棄物については、1, 2号機合計の値を1号機の運転状況に記載。